

子どもの健康と適応を守る学校予防教育

参加費
無料

第2回

国際専門家会議

開催のお知らせ

鳴門教育大学予防教育科学教育研究センターでは、子どもの健康と適応を守るユニバーサル予防教育の革新を目指す事業を展開しています。そこでは、広範囲の小中学校において、ほぼすべての学年で年間を通して継続実施することを目指します。これは、エビデンスに基づいた教育にもなります。

この事業の一環として、下記のとおり、本年度第2回目の国際カンファレンスを開催いたしますので、ご案内申し上げます。

鳴門教育大学 学長 田中 雄三
同大学予防教育科学教育研究センター 所長 山崎 勝之

招聘研究者／発表タイトル／活動紹介

Sara Salmon (Executive Director, Center for Safe School and Communities, USA)

An Evidence-Based Social Intelligence Curriculum is Necessary for Academic and Behavioral Success

アメリカ・デンバーを拠点に、全米からヨーロッパまで幅広く教育プログラムを展開。プログラムは、暴力予防を中心に学業向上にまで及び。今回、このカンファレンスのために初来日。彼女の明朗なパーソナリティとともに、そのバイタリティには誰もが圧倒されること間違いなし。一般学校はもとより、特別支援関連や矯正施設でも活躍。

Michael Bernard (Professor, The University of Melbourne, Australia)

Social and Emotional Learning: Best Practices in School-Wide Implementation

アメリカでは、アルバート・エリス協会で活躍。現在は、オーストラリア、メルボルン大学の心理学部教授であり、SEL教育の普及に努める政府のアドバイザーとして活躍している。児童・生徒支援の専門家。当センターの掲げる予防教育の趣旨に賛同し、多忙なスケジュールの中、初来日される。豪におけるSEL展開の全貌が語られるだろう。

Thomas Lickona (Professor, New York State University at Cortland; Director, Center for 4th and 5th R's, USA)

Helping Students Become Both Smart and Good: Strategies That Work in Classrooms and Schools

世界をリードするキャラクタ・エジュケーションの第一人者。理論から教育実践までのすべてをカバー。プログラム実践者の育成にも力を入れる。日本でも著書が訳され、人気が高い。今回、このカンファレンスのために再来日し、多大な影響を参加者に与えること間違いなし。敬虔なクリスチャンとしての温かい眼差しは魅力に満ちている。

討議の時間を十分にとります。濃厚な意見交換をしましょう！

2010.

11/28 SUN

12:30～18:30



キャンパス・イノベーションセンター（大阪中之島）

4階 多目的スペース3

※本会議はすべて英語にて行われます（通訳はございません）／※参加ご希望の方は末尾の連絡先までお申し込み下さい。先着50名にて受付させて頂き、会場のアクセス方法等、詳細のご案内をお送りさせて頂きます／※会議終了後、懇親会の開催を予定しております（会費制）

連絡先／鳴門教育大学予防教育科学教育研究センター

E-mail: prevent-ctr@naruto-u.ac.jp TEL: 088-687-6612 FAX: 088-687-6604

